

事務事業評価シート

(H.28)No.	1039	(H.27)No.	1039
-----------	------	-----------	------

事務事業名	外出支援サービス事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	宮崎 正秀	

会計区分	事業コード	142101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	外出支援サービス事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	外出支援サービス事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
寝たきり高齢者の外出を支援し、住み慣れた地域社会において在宅生活を継続できるようにする。
事業内容
座位が保てない寝たきり高齢者に、年度当たり24千円以内の名張市高齢者外出支援サービス事業利用券(1枚500円)を交付し、市が委託する事業者のストレッチャー装着車両による送迎車両を利用できるようにする。自宅と医療機関等の間の利用を対象とする。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・24,000円/人(500円券×114枚)=57千円 ・利用者4人 ・利用枚数 114枚 ・500円×114枚=59千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり24,000円/年(500円券×48枚)×4人=96千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・(500円券×48枚)×4人=96千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・(500円券×48枚)×4人=96千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・(500円券×48枚)×4人=96千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	57千円	96千円	96千円	96千円	96千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他()					
	一般財源	(0) 57	96	96	96	96
人工数	職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
	臨時職員等	0.04人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	(0千円) 600千円	617千円	617千円	617千円	617千円	
①+②総事業費	(0千円) 657千円	713千円	713千円	713千円	713千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、高齢者の在宅生活の継続に寄与している。	引き続き、事業の啓発及び対象者に対して適切なサービスの提供に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	座位が保てない寝たきり高齢者の保健福祉サービスの一翼を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
寝たきりの状態であっても、住み慣れた住宅での生活を維持できるように、また家族の負担軽減を図るための支援をする必要がある。	